

一般車対応を商品化 廃PET活用舗装全国展開

日本道路

日本道路は、廃PET樹脂を活用した環境に優しい高耐久性舗装の営業活動を強化する。物流施設構内など大型車対応向けに開発した高耐久の「スーパーPETアスコン」に続き、より環境に配慮したりサイクル骨材使用の一般車対応向けの「PETアスコン」を5

月に商品化。舗装面積で2021年度に約20万平方メートル、5年後は年間約70万平方メートルの施工を目指す。

世界中で廃プラスチックの処理が社会課題となる中、舗装への再利用で貢献する。開発した舗装材は廃PET樹脂を活用した花王の高機能アスファルト添加剤「NT-5000」を添

加して製造。アスファルトと骨材の接着性を高め、耐久性の向上を実現している。

一般車用は100平方メートルあたりペットボトル約700本分を再利用。店舗の駐車場など大型車両の通行量が少ない箇所に適用する。リサイクル骨材を使う点が大きな特長だ。より環境に優しく高耐久アスファルト(密粒改質II型)と同等の耐久性と低コスト化を実現する。

各企業で環境に対する意識が高まる中、ドラッグストアを展開する薬王堂(岩手県矢巾町)が一関山目店新築工事(同一関市)に一般車用を初めて採用した。駐車場の舗装工事(1600平方メートル)が対象で5月30



一般車用を初採用(岩手県、薬王堂一関山目店新築工事)

日に工事を完了。ペットボトル約1万2000本を再利用した。日本道路はSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、今後も持続可能な材料リサイクル工法を発信していく考えだ。